

ほん・本・ブック（修練会）

公益財団法人豊島修練会 2016年3月10日号（通算第5号）



子どものほん（子ども、小学生&中学生）

村中李衣作・藤原ヒロコ絵「かあさんのしっぽぽ」 B L出版 本体 1200 円



昔は行列ができるくらい売れていた大福屋。でも、近所にケーキ屋ができ、そちらにお客を取られて、今は、売れ行きもたいしたことない。それでもお母さんは大福つくりにも忙しく、娘の結衣にかまってくれない。結衣は台布巾を洗ったり、風呂を洗ったりとても良くお手伝いをしている。

それでも、お母さんが忙しく、結衣と触れ合う時間がなく、何となく物足りなく思っている。それが、……（詳しく紹介すると、この本を読む楽しみがなくなるので、これ以上は内緒にする）。そして、お母さんが、小さい時のお母さんのように思えて、忙しくても、お母さんが大好きになり、前よりもお手伝いも頑張るようになったとき。

本書は、文章が易しく、漢字に読み仮名がふってあるので、小学校低学年なら十分に読みこなすことができる。読み聞かせても、創造力を掻き立てられる楽しい本である。

大人の本（パパ&ママ、ジジ&ババなど）

小山とき子著「歌集 神話のごとし」 新炎短歌会 本体 2500 円

本書は、昭和 47 年（1972）に結成された東久留米市短歌会の著者ご本人から「東久留米短歌会」のことを知ってもらい、会員を増やしたいので、ぜひ目を通していただきたいとの趣旨で、豊島修練会に寄贈頂いた。

「砂の嵐」朝練見つつなど 15 題、「月に供える」ひとつひぐらしなど 16 題、「神話のごとし」曾孫生れたりなど 12 題、合わせて 387 首。毎日 10 首ずつじっくり楽しんでいたら、ちょうど 1 年かかった。著者の豊かな生き方にふれ、わが人生を振り返ることができた。関心のある方は、今からでも始めたらいかがでしょうか。



学校の先生のブック（小学校・中学校の先生）

清水義範著「今どきの教育を考えるヒント」 講談社 本体 1500 円

現在の学校は、多くの困難を抱え、加えて外（社会の変化に伴う要請、教育行政からの方針や指示など）からの求めが多く、いくら誠実に頑張ってもきりのない状況が続いている。

それらを、著者独自の視点から鋭く論評している。1999年当時の見解であること、校長を出世のゴールとみていること、「数学ができる」「体操が得意」「絵が上手」など優秀な子供の見方等に、違和感のある部分のないわけではないが、全体的にはものの見方考え方ははじめ教育（学校経営、教師論、カリキュラム、教育方法論などなど）に対する多面的・多角的な捉え方は、現在の課題・問題を考える際の手掛かりになる。

内容は、荒れる子供たちの原因、教育論の原点に立つ、校長先生という職業、教育の根本原理、名先生の思い出、ほめる教育のすすめ、学級崩壊を考える等 20 章に及んでいる。

<注：この欄で、色々な本を紹介するのはあくまでも情報提供です。①本欄を読むだけ、②関心があるので図書館で読んだ、③友達に借りて読んだなど、どうなさるのかはご自身の判断でお願いします。決して、押し付ける意図はございません。念のため。>

★備考★

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一宇荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

